



TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会

会報

第13号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

電話(代) 022-233-3111

FAX(代) 022-233-3113

ホームページ

http://www.tfu.ac.jp

茨城県に同窓会誕生 全国で14番目

設立総会に125人集まる

東北福祉大学茨城県同窓会(清水登美男会長)が2月10日、水戸市の水戸京成ホテルで開かれた。同窓生百二十五人に大学から萩野浩基学

橋本知事も祝福

茨城県下を県北、県央、県南、県西、鹿行の五ブロックに分け、入念



① 同窓会誕生の経緯を説明する清水会長

② 基調講演する萩野学長

仙山線「東北福祉大前」駅3・18開通



完成間近の「東北福祉大前」駅とステーションキャンパスビル

待ち望んだ新駅が誕生する。JR仙山線(仙台と山形駅を結ぶ、62.8km)の北山、国見駅のほぼ中間点にその名もズバリ「東北福祉大前」駅ができる。開業は三月十八日を目下、最後の仕上げにかかっている。

仙山線は一九二九年(昭和四年)に仙台・愛子間で開業。五四年(同二十九年)に旧国鉄が交流電化実験を実施し、全国初の営業運転にこぎつけた由緒ある鉄道路線である。

仙台駅から新駅まで約7・5kmで、所要時間は12分。山形までの下り51本のうち快速は8本でそのうち3本は停車する。山形駅から仙台に向かう上りは53本で快速は10本。そのうち4本が「東北福祉大前」駅にとまる。所要時間は普通列

神奈川県でも設立の動き

神奈川県に同窓会設立の機運が高まってきた。現在、同県在住の同窓生は約四百九十人。これまで連絡を司る事務局がないため、同窓生間の連携や親睦、交流に手間取った。また、本県出身者や本県に

せんだんホスピタル

来年開設される東北福祉大学「せんだんホスピタル」の地鎮式が二月五日、仙台市青葉区国見ヶ丘6・65の建設地で行われた。病院、施工業者、大学関係者ら約六十人が参加。

式後、萩野浩基学長が「病院を持つのは初めてであり、皆さまのご支援をよろしく願います」とあいさつした。

診療科目は神経科、精神科、内科で、ベッド数は144床。

敷地面積は9,539.73平方メートル、建築面積3,748.12平方メートルの鉄筋コンクリート造、地上四階建てで、二月に着工し、完成は来年三月、六月開業を予定している。車で73分、快速では63分になる。

新駅が誕生したことで仙山線利用者とはより東北本線、常磐線、仙山線からの利用者の利便性は格段に向上する。新駅から大学西門(図書館側)までは距離約500メートル、徒歩約三十分。

また、「東北福祉大前」駅に隣接した地上八階建ての「ステーションキャンパス」が三月中にも完成する。一階に食堂、二階に特別支援教育研究センターや福祉の各種相談室、予防福祉、健康増進の場を設け、三階に駅のコンコースと接続したカフェテリアや、学びのための研修室、各種セミナー、イベントコーナー、各鉄道路線沿線名物の産直市などが行われる予定だ。

四階から上は学生のための教室、研究室などが入る。母校訪問の際にはぜひ一度、お立ち寄りください。

※同封の沿線図を参考にどうぞ

卒業生・草間市長が自叙伝出版

就職を希望する現役生の就職活動に対し、情報提供や相談に応じることができにくかった。そんな中、有志による設立準備会をつくり、四月を目標に設立総会を開催する準備が進んでいる。

本学の昭和六十三年卒業生で、平成十八年二月の茨城県高萩市の市長選で初当選した草間吉夫氏(40)が十二月二十二日、講談社から自叙伝を出版した。タイトルは「ひとりぼっちの私が市長になった」で、定価千四百円(税別)。

児童養護施設育ちの草間氏が市長になるまでの足跡がうかがわれている。出版にあたり、本学に「私と同じような境遇の子どもたちを勇気付けた。い。本で夢、努力、明るさを持つことの大切さを知った。彼らに伝えたい。(彼ら



ひとりぼっちの私が市長になった。(講談社)

東北初の総務大臣賞受賞

地域減災センター

本学の「地域減災センター」が一月十七日、総務省消防庁等が主催する「第十一回防災まちづくり大賞」の一般部門で最高賞の総務大臣賞を受賞した。東北地区で初の快挙。数々の栄誉に輝く同センターにまた一つ勳章が加わった。

受賞は「地域減災センター」と地域社会との協働による減災学習の実践が評価されたもの。宮城県北部地震などの大規模災害時に学校を挙げた救援活動や、災害によ



渡辺信英学長補佐を囲んで

設立準備会代表の島野洋一さん(昭60福心卒)は「一歩々々という気持ちで、先輩・後輩・同期を巻き込んで、ぜひ設立したい」と積極的な姿勢を見せている。

設立への協力の申し出や問い合わせは次の通り。ホームページ(http://homepage

には、希望を持って人生を切り開いてほしい」と熱いコメントを寄せた。

また、本学の特任講師で政府の教育再生会議室長を務める義家弘介氏が本の帯に「その生き方は、努力すれば夢は実現することを見ごとに証明している」と推薦文を書いている。

ぜひ、一読したいものだ。

本学第一会議室で行われた記者会見で、小松洋吉センター長は「大変な賞で驚いている。人材育成や学生の活動が評価されたこと、何より関係者からの『苦勞さま』の一言が疲れを吹き飛ばしてくれ

る。華やかな舞台を支える「けやきクラブ」の面々。縁の下の力持だが、その存在なくして音楽堂は語れない。スポットライトを浴びなくとも十分に輝いているのが「けやきクラブ」である。何やら福祉の世界で仕事を行う人との共通点が見えてくる。

(国見 太郎)

2. nifty.com/yochishimanoから島野さんまで。

輝く「けやきクラブ」

学内の指定団体に「けやきクラブ」というサークルがある。一九九四年一月の音楽堂・けやきホール誕生から五ヵ月後に発足。以来、今日までホールの運営を一手に引き受けている学生組織である。音楽堂はコンサートホールとして名高いだけに、音楽にまつわる催しは年間十数回を超える。ほかに学会や大学行事、地域イベントまで多岐にわたって活用されている。現在、部員は男子四人、女子十六人の計二十人で、照明、音響、映像、進行と四つの班に分かれて、イベントを支えている。もはや「けやきクラブ」なくして音楽堂の運営は成り立たないぐらいの存在。決して表に出ることはなく、黒子に徹しているが、その苦勞は半端ではない。「照明」一つとってみても、電球一つ一つを操作し、場内の照明効果に万全の態勢を期すなど、地味ながらも細心の努力を重ねている。「進行」では主催者側とのコミュニケーションが欠かせない。双方に意思の疎通があつて、初めてイベントは成功する。手間はかかるが、部員は充実感、満足感を味わっている。本番に向けた打ち合わせで感じる高揚感や無事に終了したときの達成感、ときにはゲストとの記念撮影もある。そして、何より関係者からの「苦勞さま」の一言が疲れを吹き飛ばしてくれ

る。華やかな舞台を支える「けやきクラブ」の面々。縁の下の力持だが、その存在なくして音楽堂は語れない。スポットライトを浴びなくとも十分に輝いているのが「けやきクラブ」である。何やら福祉の世界で仕事を行う人との共通点が見えてくる。

(国見 太郎)

昭和52年
(1977年)
当時

四年制大学から
15年、今から30年前

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格。社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は三万人を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズの第13回は四年制大学移行から十五年目の一九七七年(昭和五十二年)を取り上げる。今から三十年前になる。



当時の校舎

就職実績も健闘

当時の後援会報第11号に就職部の内海正部長が書いている。「新しい施策を含め積極的な学生指導を行った。ガイダンス、希望調査、就職依頼状の発送など」と。

念チャリティコンサートが実施され、設立十五年のキャンボンブラザーズをはじめ、エオノアイランド、混声合唱団、クラシック同好会、フォークソング同好会に一月に誕生したばかりの吹奏楽部といった音楽系サークルが出演した。第一部が午後零時半から3時間半、第二部が同五時から2時間半、一日2公演の熱演だった。

十一月二十日には体育会創立五周年記念事業として第一体育館で高校招待男子バレーボール大会が行われた。春の選抜、インターハイを制した青森の弘前工業や千葉の習志野高校など宮城県内外から6校が参加。宮城県内の高校、仙台市内の中学校や福祉施設の利用者が招待され、若さと熱気に満ちた大会は大いに盛り上がった。

就職状況はオイルショック後の低成長、景気低迷時代を迎え、完全な買い手市場であった。就職部も手をこまぬいてはいられない。

十五周年を迎えた本学にとっても未来への足固めの年であった。



正門からの登校風景



スキー部 華やかに創部30周年を祝う 合気道部

体育会スキー部の創部三十周年記念式典が十一月三日、仙台市の江陽グランドホテルで盛大に催された。同好会として一九七五年に発足し、七七年に体育会に正式加盟。OBは約百五十人に及び、この日は約四十人が駆けつけた。スキー団体関係者をはじめ、後援会、大学、体育会各部、スキー部員、企業関係者ら約百人が出席。

主将でOB会の中島眞二会長(昭52卒)が立ち「苦難、試行錯誤の連続だったが、皆さまの協力が実を結んだ」と感謝の意を表した。昨年八月に死去したスキー部最大の功労者・平野恵弘氏に対する功績が称えられた。学生課の菅本昭夫次長と青森県スキー連盟の川村勝儀・専務理事が平野氏との思い出話を語った。ご夫人の平野隆子さん、母上・み恵子さんに、体育会の高橋俊郎会長、中島会長から感謝状と記念品が贈られた。

現役部員が壇上で部歌「青春のシュプール」(詞さとうたかお、曲完成し、新たな気持ちで迎えた記念式典になった。開会式でジョン・ステイプンス部長が「真の合気道の道を目指して頑張りましょう」とあいさつ。OBを代表して三月に卒業した第二十八代主将の佐藤直毅氏が「開催をうれしく思う。関係者のおかげ」と述べた。来賓のあいさつは日ごろからお世話になっている根本道場の根本仁志場長が立った。

体育会合気道部の創立三十周年記念式典「合気道演武大会」が十月二十八日、仙台市内の宮城県武道館で盛大に催された。同好会として一九七七年に発足し、八二年に部に昇格。OBは百六十二人及びこの日、二十人が参加した。

十周年、二十周年と節目ごとに同所で記念演武大会を開催。六月には本学に新武道場「武徳館」が

完成し、新たな気持ちで迎えた記念式典になった。開会式でジョン・ステイプンス部長が「真の合気道の道を目指して頑張りましょう」とあいさつ。OBを代表して三月に卒業した第二十八代主将の佐藤直毅氏が「開催をうれしく思う。関係者のおかげ」と述べた。来賓のあいさつは日ごろからお世話になっている根本道場の根本仁志場長が立った。

OBを交えた式典で

世界トリオ 金本・和田・斉藤が一同に

「野球教室が行われた十二月二日夕、ホテルメトロポリタン仙台で二人の卒業生プロ野球選手の偉業を称える記念祝賀会が大学と硬式野球部OB会共催で開かれた。

四月に連続フルイニング出場の世界記録を達成した阪神・金本知憲選手と、三月の世界選手権(WBC)で世界一になった日本代表の西武・和田一浩選手の活躍を祝うもの。金本選手と同級生で大リーグ・ドジャースで活躍する斉藤隆投手ら現役プロ選手十四人をはじめ、OB、大学関係者、招待者ら約二百五十人が出席した。

あいさつに立った萩野浩基学長は二人に賛辞のことばを惜しまず、「凡人は順境に安眠をむさぼ



斉藤、金本、和田の3選手(左から)



懐かしい顔がそろう式典で

一般選抜 C 日程試験

学 部	学 科	出願期間	試験日	会 場	合格発表日	手続期限
総合福祉学科	全学科	2月26日(月) ~ 3月9日(金) [必着]	3月14日(水) 3月15日(木)	仙台(本学)	平成19年3月21日(水)	平成19年3月27日(火) (消印有効)
子ども科学部	子ども教育学科					
健康科学部	保健看護学科					

大学院今後の入学試験日程 II 期選考

【修士課程】	出 願 期 間	選 考 日	合格発表日
通学制・社会人	平成19年2月20日(火)~平成19年3月7日(水)	平成19年3月10日(土)	平成19年3月22日(木)

- 総合福祉学部・子ども科学部・健康科学部
入試事務室 TEL 022-717-3312 FAX 022-717-3332
- 通信教育部 社会福祉学科・福祉心理学科
- 通信制大学院 総合福祉学研究科(修士課程)
問い合わせ TEL 022-233-2211 FAX 022-233-2212
- 大 学 院 総合福祉学研究科(博士・修士課程)
問い合わせ TEL 022-727-2288 FAX 022-728-6420

平成19年度入試情報

体育会各部の成績

陸上競技部

東北総合体育大会(8月26、27日、宮城スタジアム)

▽女子三段跳び 大泉佳那

12月77 優勝

▽同五千メートル 鈴木澄子

23分0秒83 優勝

ハンドボール部

東北学生秋季リーグ(9月29日、宮城県総合体育館)

▽男子 本学4位(2勝3敗)

▽女子 本学2位(2勝1敗)

女子ソフトボール部

東日本大学選手権(8月13日、花巻市石鳥谷ふれあい運動公園)

▽決勝

東北福祉大 8-5 淑徳大

フィギュアスケート部

第79回日本学生氷上競技選手権

▽準決勝

東北福祉大 12-41 武蔵工大

陸上競技部

東北総合体育大会(8月26、27日、宮城スタジアム)

▽女子三段跳び 大泉佳那

12月77 優勝

▽同五千メートル 鈴木澄子

23分0秒83 優勝

ハンドボール部

東北学生秋季リーグ(9月29日、宮城県総合体育館)

▽男子 本学4位(2勝3敗)

▽女子 本学2位(2勝1敗)

女子ソフトボール部

東日本大学選手権(8月13日、花巻市石鳥谷ふれあい運動公園)

▽決勝

東北福祉大 8-5 淑徳大

フィギュアスケート部

第79回日本学生氷上競技選手権

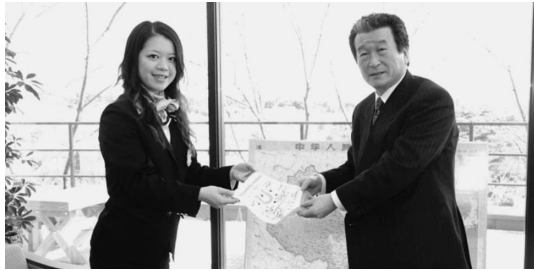
▽準決勝

東北福祉大 12-41 武蔵工大

頑張ってます

鈴木ユニバ制覇

荒川静香も後押し。ユニバーシ
アード冬季大会のフィギュアス
ケート女子はイタリア・トリノで
開かれ、一月十九日にシヨートプ
ログラム(S.P.)、二十日にフリー
が行われた。二大会連続出場を果
たした本学の鈴木明子(社福四
年)はS.P.で首位に立つと、フ
リーでも会心の演技を披露し、
堂々の初優勝を飾った。



大竹局長にサイン入りペナントを渡す鈴木

昨年、荒川がトリノ五輪で金メ
ダルを獲得したパラベラ競技場。
仙台育ちの荒川からサインをも
らったスケート靴を履いた鈴木が
燃えないわけがなかった。初日S.P
で首位に立つと、フリーでも5種類
の3回転ジャンプを見事に決めた。
S.P.が50・40、フリーが97・84で

ともにトップ。自己最高の計14
8・24点で、他に付け入るスキを与
えなかった。

入学後、体調不良のためスケー
トができない、つらい日々を過ご
した。立ち直りの一つのきっかけ
が二〇〇四年の世界選手権で優勝
を飾った荒川を映し出すテレビ
だった。感動した鈴木はとめどな
く流れる涙を拭きながら「私もや
る」と胸に誓った。

前回大会は8位。苦悩の日々を
乗り越えた末につかんだ金メダル。
「やっと階段を一つ上れた」と話す
表情に、満開の笑顔が広がった。

なお、鈴木は帰国後の一月二十
七、二十八の両日に群馬県総合ス
ポーツセンターで行われた第62回
国民体育大会冬季大会のフィギュ
ア成年女子で、S.P.、フリーとも1
位をマーク、国体2連覇を達成し
た。

同三十一日、本学で大竹榮総務
局長に凱旋報告を行い、続いて仙
台市役所、宮城県庁を訪問した。

キャンパス便り

同窓会便り①

難民支援に貢献

八木沢さんに外務大臣賞

山岳部OBの八木沢克昌氏(昭
54社福)が昨年九月二十日、タイの
日本大使館講堂で行われた授与式
で外務大臣賞を贈られた。

八木沢氏はシャンティ国際ボラ
ンティア会(S.V.A)タイ・カンボ
ジア事務所の所長を務め、一九八
三年(昭58年)からタイに逃れてき
たカンボジア難民への教育・文化
支援とともに、難民キャンプ周辺
に居住するタイの子どもの世
話を行っている。



八木沢克昌さん

図書や絵本などを現地語に翻訳
し、読み聞かせを中心にした図書
活動も積極的に展開。これらの功

績が評価され、今回の受賞につな
がった。

受賞にあたり「今後も恵まれな
い地域での移動図書館の実施や、
教育レベル向上のため保育園ス
タッフの研修を続けたい。それか
ら子どもたちに奨学金を供与し、
教育の機会を提供するなど幅広い
活動を行いたい」と抱負を述べた。

山岳部OB会では、こ二十年途
絶えていたOB会を八木沢氏の受
賞を機に復活しようと準備に取り
かかっている。すでにその準備会
を三月十日(土)午後二時から本学
で開催することが決定している。

問い合わせは準備会代表の金浜
盛雄氏まで。勤務先〓むつ市民生
活課☎0175(42)2120、ま
たは携帯☎090(8787)01
05へ。

「災害救援ボランティア 地域減災を考えるフォーラム」開催

特色GPを受賞したボランティア
アセンタールと現代GP受賞の地域
減災センターによる「災害救援ボ
ランティア 地域減災を考える
フォーラム」が一月十三日、音楽堂
けやきホールで行われた。市民や
学生ら約六百人が参加。渡辺信英
学長補佐が「市民と一緒に」って
減災、ボランティアを考えたい」と
あいさつした。

内閣府企画官(防災担当)災害情
報調査室長の荒木潤一郎氏がテ
マ「過去の震災から見えてきたも
の」私たちは何をすべきか」を
基調講演した。

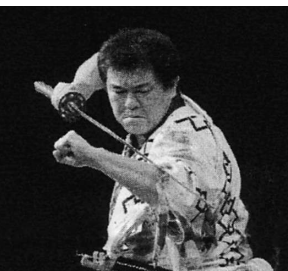
続いてパネルディスカッション
「地域減災を考える」が行われた。
パネリストは勘角奎介氏(阪神・淡
路大震災の語り部)、白澤英勝氏
(宮城県精神保健福祉センター所
方で宴会部長を担当した。卒業時
に就職先が内定していたが辞退
し、役者を希望。丹波道場に合格し
たものの入団せず、劇団手織附属
演技研究所に入所した。そこで塚
本一郎氏や森恵子さんらと出会う。
当研究所を卒業後は舞台出演に
恵まれず、友人や先輩の紹介で舞
台スタッフの仕事始めた。初め
て就いた仕事は「ラ・マンチャの

劇団だるま座 主宰は剣持直明さん

卒業前、突然「役者になる!」と
宣言した剣持直明氏(昭60福心)。
以来、着々と力を蓄え今や、劇団だ
るま座の主宰兼俳優として活躍し
ている。

劇団だるま座は「手も足も出な
い奴らの七転び八起きな芝居」を
キャッチフレーズに「笑っている
のに涙が出る。泣いているのに
笑ってしまう」という理屈ではな
い、人間の根底をくすぐるような
芝居づくりを旗印に活動が続け、
身近で親しみやすい演劇を目指し
ている。

剣持氏は在学中、ラグビー部の
フワード・リーダーを務める一
人。



劇団だるま座主宰 剣持直明さん

男」の小道具係だったという。
三十歳で「劇団希望舞台」とい
う日本中を旅回する劇団に所属
し、三十二歳で仲間と劇団東京
フールド・リーダーを務める人
を執筆した。



学生から花束を贈られるシンポジスト

長、桂利治氏(日本技術士会東北
支部)、齋藤智子さん(本学サーク
ル「withボランティア」)の四
人。コーディネーターは小松洋吉
教授が担当した。

小松教授は「宮城県の地震発生
確率は世界1だ。日常生活の中で
減災意識を根付かせる取組をし
たい」と話し、締めくくった。

女子は初日こそ首位スタート
だったが、最終日に逆転を許し、優
勝した日大に5打差の2位。
なお、藤島主将が男子の最優秀
選手に輝いた。

ゴルフ部 信夫杯男子V

第五十一回信夫杯争奪日本大学
ゴルフ対抗戦、第八回信夫杯争奪
日本女子大学ゴルフ対抗戦が十一
月九、十の両日、埼玉県児玉町のこ
だまGCで行われた。

本学男子は初日、2位に10打差
をつける首位スタート。最終日も
安本大祐(二年)がホールインワン
を含む4アンダー67をマークした
のをはじめ、藤島征次主将(四年)
も70と手堅くまとめ、2位の日大
に15打差をつける堂々たる勝利と
なった。

藤島主将は「最後まで気を緩め
なかった。4連覇のブレイチャー
に負けず、勝ててうれしい」と喜び
を話した。男子は四年連続、通算七
度目の優勝。

女子は初日こそ首位スタート
だったが、最終日に逆転を許し、優
勝した日大に5打差の2位。
なお、藤島主将が男子の最優秀
選手に輝いた。

北海道釧根地区同窓会

昨年十月上旬、中標別経済セ
ンターで公開講座を、トヨーグ
ランドホテルで総会・懇親会を開
いた。

公開講座の講師は阿部一彦教授
でテーマ「障害者自立支援法と今
後の社会福祉の動向」で講演した。
会場に準備された七十脚のイスは
すぐに埋まり、追加準備する盛況
ぶりだった。出席者の大半は介
護・障害者施設関連に勤める人た
ちで、関係者の関心の高さを物
語った。



和やかな雰囲気での懇親会

釧路市から中標別町に移しての
開催は、同町周辺に住む同窓生が
出席しやすくなるため、同時に
同窓会の関心を高める効果をもた
らした。新鮮で意義のある会に
なった。

「中南米の工芸」展 ワークショップ

芹沢銈介美術工芸館で
は十月一日から十二月十
七日まで、芹沢銈介コレ
クション「中南米の工芸」
展を開催した。作品は芹
沢銈介氏が七十歳から八
十八歳で亡くなるまでの
十八年間に集めた中南米の古代か
ら近現代にいたるまでの工芸品2
01点。

期間中、展覧会にちなんで企画
したワークショップ「ウォーリー
ドールを作ろう」が十回、開催され
た。ウォーリードールとは、メキシ
コの南東に位置するグアテマラ共
和国のお守りで、木でできた約3
センチのお人形。人形に向かって悩
み事や心配事を話し、寝るときに
枕の下に入れると、翌朝には解決
されると言い伝わる縁起物だ。



人形作りを楽しむ訪問者

人形は男子がズボン、上着を2
色、女子はス
カートに見立てた布を身に付け
る。髪の毛は砂をボンドで接着し、
ペンで目と鼻を書き加えると完
成。男女一対でマッチ箱大の木箱
に納める。

学生で作製の手伝いをした早坂
裕樹君(社教四年)は「実際に作っ
てみると愛着が沸く。作業の過程
も楽しいです」と目を細めた。

訪問を心待ちにしていたという仙
台市内の五十代女性は「職員さん
がつくる人形はすごい。私は器用
ではないが、それでも心が弾む」と
すっかりハマった様子だった。

ワークショップ開催の案内は新
聞にも掲載され、一日平均十五人
が参加し、多いときには二十五人
に上った。特別展を鑑賞し、その足
で自らの作品を仕上げる。こんな
楽しみができるのも芹沢銈介美術
工芸館ならではである。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2007 年		2008 年
月	3/18(日)~7/16(月・祝)	8月5日(日)~9月15日(土)	10月1日(月)~12月17日(月)
展示内容	特別展「型紙 ― 芹沢銈介の創造の原点 ―」	小企画展「包むデザイン・芹沢銈介の風呂敷」	特別展「芹沢銈介があつめた仮面」

同窓会便り ②

寮生有志贈った

思い出の表札再び母校に

由緒ある表札は昭和三十八年七月に完成された本学の学生寮「喜心寮」に掲げられていた。

寮の完成以来、しばらくは表札がなく、寮生が寂しい思いをしていた。八年後の同四十六年三月の卒業を記念し、寮生有志九人が心を合わせた結果、出来上がった思い出の表札であり、玄関先に掲げられた。

喜心寮は現在の図書館のある場所に建てられたが、校地の整備計



懐かしい旧喜心寮表札

各県総会報告

富山県同窓会

昨年七月二十九日、パレブランチ高志会館(富山市)に江尻行男教授を迎え、総会と懇親会を開いた。総会の中心議題は初の開催になる公開講座。協議の末、満場一致で事務局案が承認され、成功に導くために協力し合うことが確認された。また、通信教育部に対する支援



江尻行男教授(前列中央)を囲んだ出席者

と連携について事業として取り組むことも承認された。支援と連携を事業として取り組む同窓会は富山県が初めてになる。懇親会には出席者が少なかった分、家族的で、世代や職域を越えた和やかな雰囲気包まれた。公開講座は昨年十月二十九日、砺波市の社会福祉法人・となみ野会研修室で行われ、約四十人が参

彦氏(昭51産福)が預かった。

昨年六月、群馬県同窓会総会が開かれた際に、出席者の間でこの表札が話題に上った。そこで同窓会事務局が木村氏に寄贈を申し出たところ、出席者からも「木村氏の意に添う形になる」と賛同が得られ、木村氏も快諾。翌七月十五日に母校を訪問し、寄贈が実現した。活用方法は目下、検討中だ。

新喜心寮は平成十四年に第二校地内に建てられ、実学臨床教育を受講する男女学生を対象に入寮が許可されている。

恩師に感謝の花束

恩師の誕生日に赤いバラ。済生会新潟第二病院地域医療部の中村昌広副部長(昭52卒)と同病院



お子さん連れで訪問した仲良し3人組

大の仲良し3人組

お子さん同伴で母校訪問

お子さんを連れ、旅行カバンを抱えた卒業生が同窓会事務局のある広報課に「この荷物預かってくれませんか」と言いつつ、訪れたのは昨年十一月二十一日

立にあたっては生みの苦しみ、設立後は育てる苦しみがあった」と回顧した。野田新会長は「地域貢献できる同窓会にしたい」と抱負を述べた。

シドニー、アテネとパラリンピック連続二大会出場の中嶋さん



中嶋さんの講演に感銘を受けた総会出席者

は「努力は財産」をテーマに講演。「障害者であることは人生上、マイナスになっていない。現在、砲丸投げ、円盤投げに打ち込んでいるので幸せ。今は自分の成長を願って

地域連携室の斎川克之係長(平6卒)ら同窓生八人が八月二十五日、足利量子名誉教授の八十一回目の誕生日に合わせて、八十一本の深紅のバラを贈った。

中村副部長にMSW(医療ソーシャルワーカー)の奥の深さと、最も



定年を前に最終講義を行う足利教授(平成11年1月)

大切な「感性」を指導した恩師であり、斎川さんには「人のつながりの大事さ」を伝えた先生である。

先生の教えは今も脈々と教え子に受け継がれ、感謝の気持ちがバラの花に込められた。足利先生は「届いたとき」びっくりした。覚えてくれていて、とてもうれしかった」と感慨深げに話した。

たくさんあったので、近所の病院に配ったところ、大変喜ばれたという。

先生は一九二五年(大正十四年)生まれで、本学で三十五年にわたり教鞭をとられた。数多くの教え子が全国に散らばり活躍しているが、その教えは今も息づいている。なお、同病院には今春、本学の高橋宏輔さんがMSWとして新たに

加入する。

十四度目の同期会

還暦迎え古牧温泉で

昭和四十二年同期会は昨年十月十五日、古牧温泉(青森県三沢市)で二年ぶり十四度目の開催を



元気で集まった同期生

この日の仙台は比較的穏やかな日より。キャンパス内は彩られた紅葉が見ごろで、懐かしい思い出の場所をゆつくりと散策し、母校訪問を楽しんだ。この機に、ゼミで指導を受けた阿部芳久教授の研究室を訪ねたが留守、会うことができず残念がった。

日が傾き、冷気が忍び寄る夕方、思いを胸に母校を後にした。

し、就職のため同窓生に熱心に自分を売り込む姿が見られた。宴は和やかに進み、時の経つのを忘れる楽しさだった。

沖縄県同窓会

昨年十月二十一日、沖縄市のロワジールホテルオキナワに萩野浩基学長、岡田清一学部長、千葉幸喜入試センター次長、桜井裕華同センター員らを迎え、開かれた。

今回の同窓会は平成十四年六月、沖縄県慰霊の日に当時国会議員だった萩野浩基学長が訪沖したときの歓迎会を兼ねて開催されて以来、四年ぶり、二十二人の同窓生が集まり、再会を喜んだ。

始めに萩野学長があいさつし、母校の近況を報告。同窓生は発展する母校の姿に思いを寄せていた。

山形県同窓会

各地の同窓会の設立や運営のモデルになっている山形県同窓会の総会と公開講座、入試説明会が昨年十月八日、山形国際ホテルで開催された。

第一部の入試説明会は本学入試センターの千葉幸喜次長が出席し、高校生を対象に行った。特に個人面談を希望する生徒が詰め掛け、予定時間をオーバー。場所を移して対応した千葉次長は大忙しだった。

第二部の公開講座のテーマは「ベトナムの社会福祉と研究活動を通して」ビトの豊かさを再考する。講師は赤塚俊治助教授。ベトナムの旅から不思議な魅力に取りつかれ、研究活動を始めたが「ベトナム人の日常生活に触れ、実態を知った。人生の無常を知り、ヒト」の豊かさを再考せざるを得なかった」と強調。今後は「社会福祉

同窓会に先立ち、同ホテルで県下の高校から進路指導教諭、保護者、生徒を対象にした入試説明会を迎え、開かれた。



萩野学長の来沖を機に開いた総会

を実施、希望者に個人面談が行われた。

沖縄県で開く本学の入試説明会は今回が初めてで、出席者は一様に満足げな表情を浮かべていた。

東北福祉大学ホームページ <http://www.tfu.ac.jp>

ち上げた者、ボランティアで地域を支える者など、何らかの形で世のため、人のために奉仕している。宴席では、やはり在学中の思い出に花が咲き、話は尽きることがなく深夜に及んだという。

今回は平成二十年、仙台で開くことを決め、一泊二日の同期会を散会した。

研究に精進し、ベトナムと日本との架け橋の一端を担いたい」と抱負を述べた。約六十人の参加者から盛大な拍手を浴びた。

懇親会には二十五人が出席。元



元本学教授渡部先生(前列右から3人目)もお元気で出席

本学の渡部剛士教授が乾杯の音頭を取った。時間の経過とともに交流の輪が広がり、あちらこちらで歓声が上がった。高橋春樹副会長(昭45社福)の一本締めで、締めくくられた。

保育士課程同窓会

平成二十年十一月に誕生してから継続して開催されている同窓の総会が昨年十二月十日、本学会議室に佐藤美恵教授、西野美佐子教授を迎え、開かれた。

総会で六期六年会長を務めた田中佳二氏(昭62社福)が勇退し、新たに小野高広氏(平10社福)が承認された。

小野新会長は「田中前会長の築いた偉業を受け継ぎ、さらに活性化を図り、事業を展開していきたい」と就任あいさつした。

懇親会では佐藤教授から恒例の赤飯が振る舞われた。景品が当たるゲームも用意され、お子さん連れをはじめ会員は大喜びだった。